○●

中国四国地域の和食文化ネットワーク

メールマガジン　第 50 号

配信日：2023 年 7 月 11 日

○●

小暑に入り、暑さがだんだん強まっていく季節になりました。毎日「朝ごはん」を食べて、元気な 1 日をスタートさせましょう。農林水産省の広報誌（aff） 6 月号に、毎日最高「朝ごはん」が掲載されていますので、是非ご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2306/

【目次】

1. 農林水産省 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」の事例募集
2. 農林水産省 「第 18 回食育推進全国大会 in とやま」の動画公開
3. 農林水産省 「第 7 回食育活動表彰」の結果
4. 中国四国農政局　令和 4 年度「食料・農業・農村白書」、「食育白書」、「森林・林業白書」及び「水産白書」に関するブロック別説明会の開催
5. 中国四国農政局 「子どものための夏休み企画」～知っている？農林水産業と私たちの食生活とのつながり～の開設
6. 和食会議 「第 11 回「和食と健康」シンポジウム」の開催報告
7. 四国豆腐連合会「第 7 回全国豆腐品評会中国四国地区大会」の結果
8. （公財）全国税理士共栄会文化財団　助成募集

――――――――――――――――――――――――――――――――――――

1. 農林水産省 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」の事例募集

――――――――――――――――――――――――――――――――――――

農林水産省では、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」（第 10 回選定）と称して、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる事例を募集します。また、今回は第 10 回記念賞として、過去に選定された取組を対象に、選定後に著しい発展性がみられ、全国の模範となる事例を選定します。

選定された地区には、選定証の授与を行うとともに、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」特設 Web サイトでの活動の紹介などにより全国的に情報発信します。

【募集締切】

令和 5 年 8 月 27 日（日曜日）

【募集する取組】

地域において、新たな需要の発掘・創造や潜在している地域資源の活用を行うことにより、農林水産業・地域の活力創造につながる、次の①から③のいずれかに該当する取組とします。

①美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
②幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生
③国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現
・ 詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ホームページ）
https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/230616.html

――――――――――――――――――――――――――――――――――――

2．農林水産省 「第 18 回食育推進全国大会 in とやま」の動画公開

――――――――――――――――――――――――――――――――――――

農林水産省は、毎年６月の「食育月間」に関連する取組の一層の充実を図るため、本年度の全国的な取組として、6 月 24 日（土）、25 日（日）に富山県との共催により食育推進全国大会を開催し、23,300 人の皆さまにお越しいただきました。ステージイベントやセミナーについては、大会公式ホームページで動画を公開しています。

・ 詳しくは、こちらをご覧ください。（大会公式ホームページ）
https://shokuiku-toyamataikai-18th.jp

――――――――――――――――――――――――――――――――――――

3．農林水産省 「第７回食育活動表彰」の結果

――――――――――――――――――――――――――――――――――――

食育を推進するためには、農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動、教育活動又はボランティア活動を通じて、食育の推進に取り組む者（以下「食育関係者」という。）による取組が全国で幅広く行われることが重要です。

このため農林水産省は、食育関係者を対象として、その功績を称えるとともに、その取組の内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開していくことを目的として表彰を行います。

今回、ボランティア部門【食生活改善推進員の部】において、中国四国管内の備前市栄養委員会（岡山県:活動期間 51 年）が消費・安全局長賞を授与されました。

・ 詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ホームページ）
https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/hyousyo/7th/result.html

――――――――――――――――――――――――――――――――――――

4．中国四国農政局　令和４年度「食料・農業・農村白書」、「食育白書」、「森林・林業白書」及び「水産白書」に関するブロック別説明会の開催

――――――――――――――――――――――――――――――――――――

中国四国農政局は、「食料・農業・農村白書」、「食育白書」、「森林・林業白書」及び「水産白書」について国民の皆さんにより知っていただけるよう、令和４年度の各白書の説明会を開催します。

参加を希望される方は、申込フォームからお申し込みください。

（四国ブロック）
【開催日時及び場所】
日時：令和５年８月８日（火曜日）
13 時 00 分～16 時 35 分 ※12 時 30 分から受付開始
場所：高松サンポート合同庁舎南館 101 大会議室（香川県高松市サンポート 3-33 号）
【申込期限】
令和５年７月 28 日（金曜日）

（中国ブロック）
【開催日時及び場所】
日時：令和５年８月 28 日（月曜日）
13 時 00 分～16 時 35 分 ※12 時 30 分から受付開始
場所：岡山第２合同庁舎 10 階会議室 A･B（岡山市北区下石井 1-4-1）
【申込期限】
令和５年８月 18 日（金曜日）
・ 詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ホームページ）
https://www.maff.go.jp/chushi/press/kikaku/230707.html

－－－

5．中国四国農政局 「子どものための夏休み企画」～知っている？農林水産業と私たちの食生活とのつながり～の開設

－－－

夏休みを迎えた子どもたちを対象に、毎日の生活や暮らしを支えている地域の農林水産業の役割等について、考え、理解を深めてもらうことを目的に、農林水産業に関する情報やクイズなどを通して、楽しみながら学べるリモート版のイベントコーナーを中国四国農政局のホームページ上に開設します。
【ホームページ上での開設期間】
令和５年８月１日（火曜日）～８月 31 日（木曜日）
・ 詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ホームページ）
https://www.maff.go.jp/chushi/press/seikatsu/230710_22.html

－－－

６．和食会議 「第 11 回「和食と健康」シンポジウム」の開催報告

－－－

（一社）和食文化国民会議は、６月 14 日（水曜日）に会場参加と Zoom にて「和食と健康」シンポジウムを開催しました。
【テーマ】「お味噌」の魅力再発見 「お味噌」の恵みで健康に「賢い」食を考える
【内容】・講演「身にしみる味噌中ペプチド」 京都大学 佐藤教授
・講演「味噌汁・スープの肥満リスクとの関連」 味の素㈱食品研究所 黒田理事
・パネルディスカッション

・ 詳しくは、こちらをご覧ください。（和食会議ホームページ）
https://washokujapan.jp/info/info-20230619/

－－

7．四国豆腐連合会「第７回全国豆腐品評会中国四国地区大会」の結果

－－

四国豆腐連合会では、にがりの町香川県宇多津町にて「中国四国地区豆腐品評会」を４年ぶりに開催しました。上位入賞商品は、令和５年９月 16 日（土曜日）に東京で開催予定の「第７回全国豆腐品評会」（全国豆腐連合会主催）への出場資格が与えられます。

・ 詳しくは、こちらをご覧ください。（四国豆腐連合会ホームページ）
https://www.yon-to-ren.jp/cont1/114.html

－－

8．（公財）全国税理士共栄会文化財団　助成募集

－－

一人ひとりが暮らす地域社会の文化は、人々にとって生きる自信や誇りを与えるものであり、その主体性を確立していく必要があります。特に心のふるさとを求めて地域文化の再認識が現在各地で求められているところです。

こうした考えに基づき、公益財団法人全国税理士共栄会文化財団では、食文化分野を始めとする地域文化の活動に対し助成を行います。

【申請締切】10 月末日（当日消印有効）
【募集方法】推薦制・公募
【助成対象】④食文化分野
地域における食文化に関わる技能及び技法、並びに継承者の育成等を図るための活動などに努力している個人または団体

・ 詳しくは、こちらをご覧ください。（和食会議ホームページ）
https://washokujapan.jp/info/info-20230628/

○●

中国四国地域の和食文化ネットワークの事務局

○●

窓　口：中国四国農政局　経営・事業支援部　食品企業課
住　所：岡山県岡山市北区下石井 1-4-1
電　話：(086)224-4511　【内線 2152／2171】

農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。
配信をご希望される方は、ご登録をお願いします。
https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html